2025 年度 自己点検･自己評価 報告書

日本語教育機関名：ゲートウェイ日本語学校

点検対象時期 ：2025 年 4 月～2026 年 3 月
点検実施責任者 ：吉原一雄（校長）
点検実施担当者 ：出口未奈 （副校長兼主任教員） ラミチャネ･アルジュン（事務統括者）
報告書作成時期 ：2026 年 4 月 5 日

評価基準

4：達成している **3**：ほぼ達成している **2**：取り組みを検討中 **1**：改善が必要

1. 認定日本語教育機関の目的及び目標の達成状況

番号	点検項目	総合評価
1-1	教育理念・目的の共有	4.0
1-2	年度方針の具体化	3.6
1-3	成果指標の設定と分析	3.5
1-4	教育理念の実現度検証	3.6

＜現状・具体的な取り組み/課題＞

- **現状**: 教育理念や運営方針は文書および口頭で全職員に周知されており、学校の目指すべき方向性は高いレベルで共有されています。年度計画に基づいた運営も円滑で、特段の支障なく教育活動が行われています。学生の挨拶などの礼節面も校長の指導により着実に向上しており、出席率も非常に良好な数値を維持しています。
- **解決策**: 今後は、共有されている年度方針を部署ごとの具体的なアクションプランへ落とし込むことで、より実効性を高めます。学生の忘れ物防止や自律学習についても、面談等を通じたきめ細やかなアプローチを継続し、学習環境のさらなる充実に努めます。

---

2. 教員及び職員の組織運営

番号	点検項目	総合評価
2-1	明確な職務分担	3.8
2-2	定例会議の実施	4.0
2-3	連携・引継ぎの仕組み	3.9
2-4	研修・スキルアップ	3.7
2-5	勤務環境の適正管理	4.0

＜現状・具体的な取り組み/課題＞

- **現状**: 職務分担が整理されており、日常の運営は極めて円滑です。会議を通じた学生情報や授業状況の共有も定例化されており、講師間での連絡ツールを用いた連携も効果的に機能し

ています。研修については、教材の検討会や学び合いの機会が積極的に設けられており、教職員のスキルアップ意欲が高い点が当校の強みです。

- **解決策**：新設校として常に進化する業務内容に合わせ、役割分担のさらなる最適化とマニュアルの整備を段階的に進めます。研修記録の蓄積や引継ぎルールの標準化をより一層強化し、組織全体としての教育・運営力のボトムアップを継続します。

---

3. 施設及び設備

番号	点検項目	総合評価
3-1	法令基準の遵守	4.0
3-2	安全対策の整備	4.0
3-3	ICT 環境の充実	3.9
3-4	共用スペースの活用	3.5
3-5	維持管理体制	4.0

＜現状・具体的な取り組み/課題＞

- **現状**：教室設備や防災設備は法令基準を遵守し、適切に管理されています。ICT 環境も業務・授業に十分対応できるレベルで整備されており、効率的な教育活動が可能です。図書室などの共用スペースも、学生の自習や交流の場として活用されています。
- **解決策**：防災設備の点検をより体系的なスケジュールで運用し、安全管理体制の万全を期します。ICT 機器の計画的な更新や、掲示板のさらなる有効活用（ゾーニング化）を通じて、より学生が意欲的に学べる環境づくりを推進します。

---

4. 日本語教育課程の編成及び実施

番号	点検項目	総合評価
4-1	教育課程の体系化	4.0
4-2	教材・評価方法の適正化	4.0
4-3	授業計画と指導設計	4.0
4-4	学習成果の確認	4.0
4-5	授業改善のサイクル	3.9

＜現状・具体的な取り組み/課題＞

- **現状**:「日本語教育の参照枠」に基づいた体系的なカリキュラムが実践されており、学習目標が明確です。定期試験や面談を通じた学習到達度の把握も定着しています。教員同士の授業見学や対話が日常的に行われており、改善に取り組みやすい風通しの良い環境が整っています。
- **解決策**: 教務室の統合を契機に、専任・非常勤を問わずさらなる指導法の共有と意見交換を活発化させます。ジャーナルなどのツールも活用を継続し、学生一人ひとりの成長をより多面的に評価・支援する体制を強化します。

---

5. 卒業の認定及び学習の成果

番号	点検項目	総合評価
5-1	卒業要件の明確化	-
5-2	評価基準の公平性	-
5-3	成果の多面的評価	-
5-4	結果のフィードバック	-
5-5	卒業後追跡調査	-

＜現状・具体的な取り組み/課題＞

- **卒業年度に達していないため今回は評価対象外としています。**

---

6. 生徒への学習上及び生活上の支援

番号	点検項目	総合評価
6-1	学習支援体制	4.0
6-2	生活支援の充実	3.9
6-3	カウンセリング体制	3.8
6-4	生活指導・規律教育	3.8

＜現状・具体的な取り組み/課題＞

- **現状**：少人数制を活かしたきめ細やかな個別支援が機能しており、学生の悩みや要望に迅速に対応できる体制です。生活指導も学校方針に沿って日々行われており、安心・安全な学生生活を提供できています。
- **解決策**：相談窓口の役割分担をさらに明確にし、組織的な対応力を高めます。外部専門機関との連携リストを整備・活用することで、多様な悩みを持つ学生へのサポート体制をより強固なものにします。

7．財務

番号	点検項目	総合評価
7-1	予算管理の透明性	3.8
7-2	学費設定の妥当性	4.0
7-3	財務健全性の維持	4.0
7-4	会計処理の適正	4.0
7-5	経営改善への活用	4.0
7-6	仲介料の妥当性	4.0

＜現状・具体的な取り組み/課題＞

- **現状**：財務基盤は極めて安定しており、適正な予算管理と会計処理がなされています。学費設定も教育内容に見合った妥当なものであり、経営面での不安要素はありません。
- **解決策**：策定した年間予算と収支状況を定期的に共有する体制をさらに洗練させ、より透明性の高い、安定した学校運営を継続していきます